

<滋賀医大ホームページ・外来での公開用>

「睡眠時無呼吸症候群の治療にともなう主観的・客観的データの変化の解析」について
研究協力をお願い

目的

睡眠時無呼吸症候群（OSAS）の治療法として、持続陽圧呼吸療法（CPAP）およびOA（マウスピース、口腔内装具）は健康保険の適応となった治療法です。

睡眠時無呼吸症候群に対してCPAPあるいはOAを用いた治療を行っている方を対象に、治療前後の客観的データおよび自覚症状の変化を解析することが本研究の目的です。

概要

滋賀医科大学附属病院および市立長浜病院において睡眠時無呼吸症候群を疑い、終夜ポリグラフ検査（PSG）を行った症例に対して、CPAPあるいはOAを用いた治療による客観的および主観的症狀の変化を解析します。

方法

睡眠時無呼吸症候群について、既に行われた診療および検査データを、誰のものかわからないように（匿名化）して解析します。医療機関による違いがないか知るために、市立長浜病院からもデータを得て、滋賀医科大学のデータと比較検討します。

効果

本研究は、睡眠時無呼吸症候群に対するCPAPおよびOAによる治療効果の解析とともに、検査データに含まれる心拍の変動を用いた睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング法の開発にもつながる可能性があります。これらは睡眠時無呼吸症候群の診断・治療を進めていく上で医学上に大きく貢献できると考えられます。

副作用・危険性・不利益等

過去の治療・検査データを利用した解析なので、危険性や、不利益は特にありません。

研究の成果は、個人が誰であるかわからないようにした上で、学会や学術雑誌およびデータベース上で公に発表されることがあります。

個人情報の保護

カルテおよび検査のデータを元に解析します。個人情報は使用せず、この研究のために新たにつける番号（匿名化番号）を用いて解析します。解析は市立長浜病院および滋賀医科大学にて共同で行います。

同意及び撤回

調査への参加は任意で、いつ止めても構いません。参加しても参加を取りやめても医療の内容は変わりません。

費用（医療費）

この研究の参加に費用はかかりません。また、この研究への協力に対する報酬は支払われません。なお、研究をした結果、特許などの知的財産権が発生した場合、それはご提供者のものとはなりません。

作成日 2016年3月1日

連絡先・問い合わせ先

責任者名 角谷 寛（滋賀医科大学 睡眠行動医学講座・特任教授）

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話 : 077-548-3632

問い合わせメール : hqsuimin@belle.shiga-med.ac.jp